

項目名

⑩ 献血の推進について

■ 現状（概要）

病気やけがの治療等に必要な血液は、国民の善意による献血によって支えられている。全国における献血者数は減少傾向にあり、本県の献血者数も昭和61年度にピークとなる154,308人を数えたが、その後減少を続け、令和4年度は63,981人であった。

現在、医療機関への輸血用血液製剤の安定供給を効率的かつ合理的に行うとともに、輸血用血液製剤の期限切れを減少させ有効活用を図ることを目的として、平成24年度にこれまでの都道府県単位による体制からブロック単位による広域的な体制に移行している。

九州ブロックにおける需給計画については地域センターの策定する需要見込みと採血計画を基礎として、九州ブロックセンターが地域センターの実情等に配慮した採血の役割分担等の調整を踏まえて策定している。

【令和4年度管内市町村ごとの献血者数及び計画の達成状況】 (単位：人)

	採血計画	受付者数	献血できなかった人	採血内訳			達成率 (%)
				200mL	400mL	計	
日置市	974	1,074	113	0	961	961	98.7
いちき串木野市	583	546	32	1	513	514	88.2
学校		81	27	4	50	54	
計	1,557	1,701	172	5	1,524	1,529	98.2
前年度計	1,567	1,811	173	2	1,636	1,638	104.5
増減	△10	△110	△1	3	△109	△109	

■ 取組状況

1 献血思想の普及啓発及び献血推進運動の実施

- ①献血功労者の表彰
- ②啓発資材、各種広報媒体による広報活動

2 若年層の献血者確保に関する事項

- ①中学生を対象とした血液教育事業の実施(学校薬剤師)
- ②高校生献血の強化
- ③大学及び専門学校对学生に対して献血への理解を深める働きかけ

4 事業所(企業)献血の推進

5 複数回献血協力者の確保

献血Web会員サービス「ラブラッド」(旧名称:複数回献血クラブ)、「ラブラッドアプリ」の普及啓発及び登録利用推進

■ 課題

近年、特に若年層における献血者数の減少が顕著であり、将来に涉って安定的に輸血用血液を確保するためには、より一層の普及・啓発が必要である。

■ 今後の方向性

献血バスによる事業所献血及び高校生献血、複数回献血協力者の確保をより一層推進していく。

■ 依頼事項等

寒冷期は特に献血者が減少傾向にあることから、献血の推進に引き続き御協力いただくようお願いしたい。